

軌道下部・立坑底盤部の薬液注入工

— ダブルパッカ工法 —



本工事は、市内を流れる二つの河川水を2.3 kmの別ルートにて直接海へ排水し、大規模の洪水から家屋浸水被害を解消する為の放水路新設工事です。

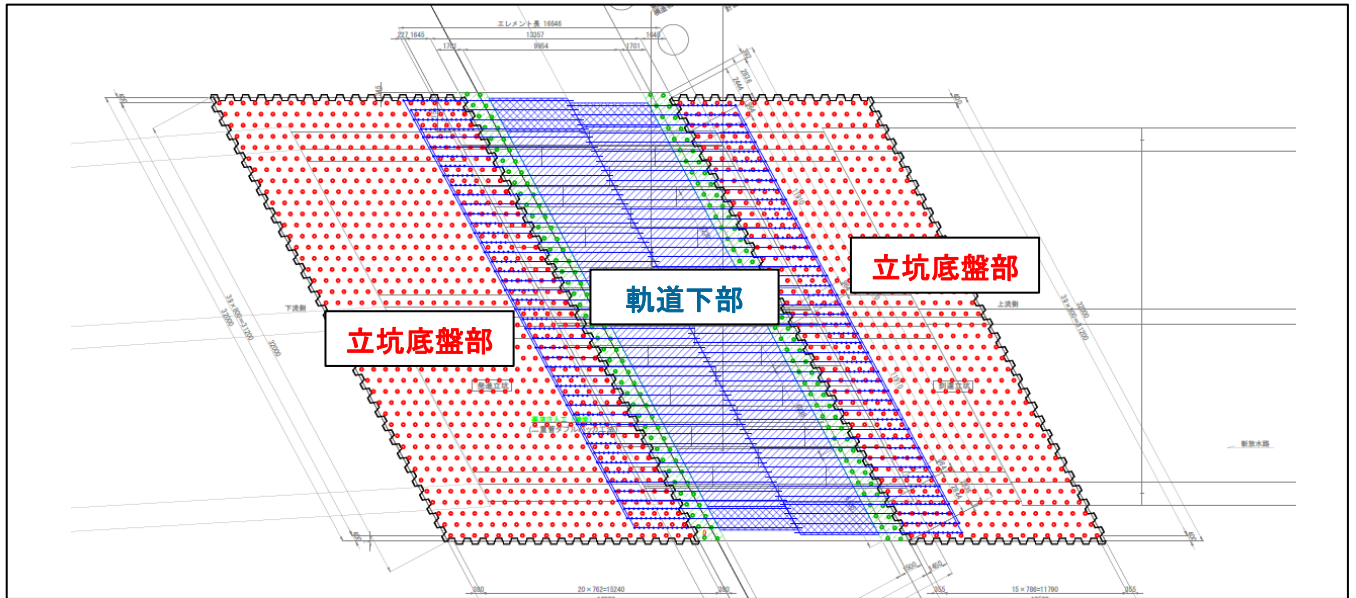
放水路は開水路区間と暗渠区間があり、線路横断部では暗渠が計画され、その軌道下部・立坑底盤部への止水目的の薬液注入工としてダブルパッカ工法が採用されました。

施 工 数 量

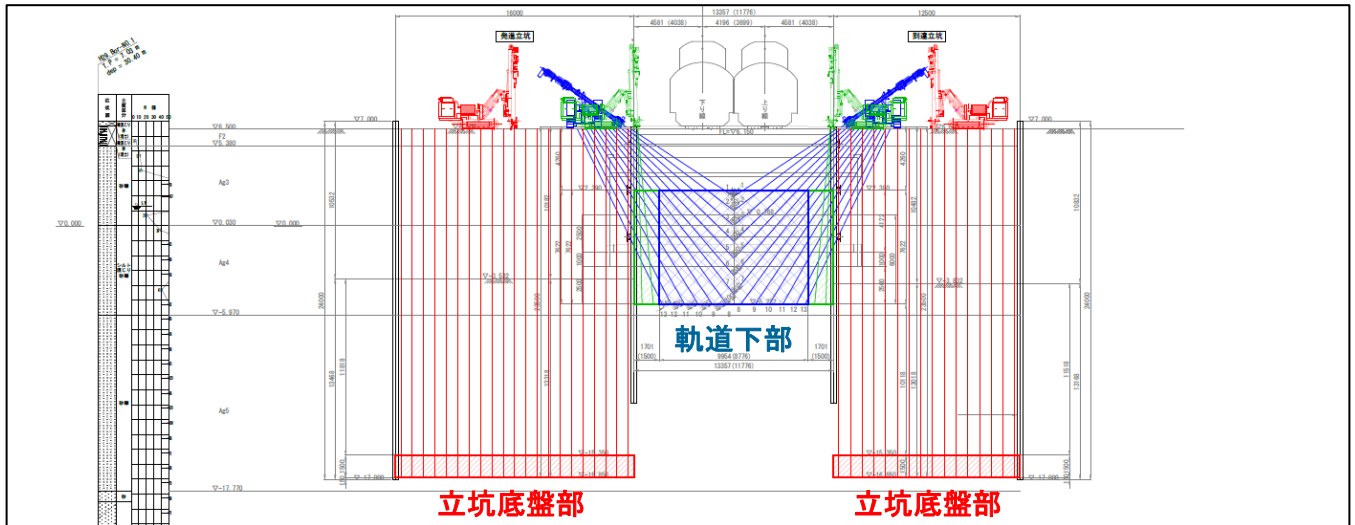
施 工 本 数	2,314 本
削 孔 長	44,232 m
対 象 土 量	2,588 m ³
注 入 率	31.5 %・38.0 %・43.5 %
一 次 注 入 量	258,786 L
二 次 注 入 量	677,850 L
総 注 入 量	936,636 L



平面図



断面図



施工状況(削孔)



施工状況(注入)

